

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【公開番号】特開2006-330459(P2006-330459A)

【公開日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-048

【出願番号】特願2005-155479(P2005-155479)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/06 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 3 4 0

G 0 3 G 21/00 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月20日(2008.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

転写材を給紙し、装置内を搬送する過程で、前記転写材に像担持体に形成されたトナー像を転写する転写手段、前記像担持体より前記転写材を分離するための除電手段、転写された前記トナー像を前記転写材に定着する定着手段、装置外部に前記転写材を排出する排出手段を有する画像形成装置において、

転写材搬送方向の前記転写手段より上流側に、前記転写材の一部に導電体を有するか否かを検知する導電体検知手段を設け、前記導電体検知手段が前記転写材に導電体を有すると検知した場合、前記除電手段に印加するバイアスをOFFにすることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

転写材を給紙し、装置内を搬送する過程で、前記転写材に像担持体に形成されたトナー像を転写する転写手段、前記像担持体より前記転写材を分離するための除電手段、転写された前記トナー像を前記転写材に定着する定着手段、装置外部に前記転写材を排出する排出手段を有する画像形成装置において、

転写材搬送方向の前記転写手段より上流側に、前記転写材の一部に導電体を有するか否かを検知する導電体検知手段を設け、前記導電体検知手段が前記転写材に導電体を有すると検知した場合、前記除電手段に印加するバイアスを前記転写手段と同電位することを特徴とする画像形成装置。

【請求項3】

前記導電体検知手段からの出力が転写材なしを示す値 $P_0$ 、転写材のみを示す値 $P_1$ 、導電体を含んだ転写材を示す値 $P_2$ とした場合、前記出力が転写材搬送方向で $P_0$ 、 $P_1$ 、 $P_2$ 、 $P_1$ 、 $P_0$ の順で変化した場合に、前記転写材に導電体を有すると判断することを特徴とする請求項1または2記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記導電体検知手段として、前記転写材を挟んだ静電誘導の値を検知することを特徴とする請求項1ないし3いずれか記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記導電体検知手段として、前記転写材を挟み超音波で送受信を行い、受信した超音波の変化により前記導電体を含むと判断することを特徴とする請求項1または2記載の画像形成装置。

【請求項6】

前記導電体がRFIDであり、前記転写手段に至るまでの搬送において、RFID読取手段により前記RFIDのユニークIDを読み取ることで前記転写材に前記RFIDが内包していることを検知して成ることを特徴とする請求項1または2記載の画像形成装置。

【請求項7】

前記除電手段に印加するバイアスをOFFにするか、もしくは前記除電手段に印加するバイアスを前記転写手段と同電位にする位置を転写材先端より20mm以上搬送した位置より行うことを特徴とする請求項1または2記載の画像形成装置。